

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Nov.2015

11

No.661

ドキドキ、
つらつら

(和みいなハロウィン、10月16日)





1_ 町商工会館で開かれた勉強会の様子。参加者たちが真剣に耳を傾け、地域の歴史を学んだ 2_ 川桁駅をスタートする参加者 3_ 下館駅で改札する猪苗代高の生徒たち 4_ 沼尻駅に展示された、吾妻小と長瀬小の児童による軽便鉄道の絵画 5_ 酸川野駅で手作りの漬け物などを振る舞う「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」の皆さん



懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて

ウォーキングイベント「第17回懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」は9月26、27日の両日、旧路線跡などで開催されました。町商工会青年部などで作る実行委員会が主催したこのイベントには、約200人が参加。27日にはJR川桁駅から中ノ沢温泉までの約18kmの旧路線跡を歩きました。

参加者は、黄金色になった稲穂を眺めながら思い思いのペースで歩き、心地よい汗を流しました。

終点では、宿泊券や町の特産品などが当たる抽選会や民話の語りが行われたほか、手打ちそばや豚汁も振る舞われ、参加者から好評を博しました。

ことはボランティアとして猪苗代高の生徒が初参加。9月2日には勉強会を開き、講師を務めた「いなわしろ民話の会」の鈴木清孝会長と「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」の安部なかさんがそれぞれ町の歴史や沼尻軽便鉄道について解説し、同校の生徒や町商工会青年部の部員たちが古里について理解を深めました。



町役場を訪れた中村さん(右)



盲導犬との歩行体験をする森田課長(左)

日本盲導犬協会仙台訓練センター普及推進部の目黒隆之さんはこのほど、町役場を訪れ、前後公町長に町内における盲導犬受け入れの促進を要望しました。

目黒さんは、身体障害者補助犬法により、店舗や施設などへの盲導犬の同行は認められていると説明。目黒さんと共に訪れた、町内在住で盲導犬の貸与を受けている中村明雄さんは「飲食店で盲導犬の入店を断られることが多い。盲導犬は普通のペットとは違うので、皆さんのご理解とご協力をお願いしたい」と要請しました。前後町長は「町民の皆さんに周知し、正しく理解してもらいたい」と話しました。

庁内では盲導犬との歩行体験が行われ、森田茂夫保健福祉課長がアイマスクを着用し、訓練士の説明を受けながら盲導犬の誘導で廊下を歩きました。

参加者・実行委員会メンバー・高校生ボランティアの声



(左から)白岩靖彦さん・多喜子さん夫婦、村上早苗さん(郡山市)

このイベントに7回も参加している友人に誘われ、初めて参加しました。とても楽しく歩くことができました。途中の駅でいただいた花豆とこんにゃくがとてもおいしかったです。終点では特産品が当たる抽選会やそばと豚汁の振る舞いもあって、とてもお得だと思います。ぜひまた参加したいですね。



猪苗代町商工会青年部 西村和貴部長

今回は、猪苗代高の生徒さんに「町の歴史に触れてほしい」「おもてなしの心を育んでほしい」との思いから、ボランティアとして参加してもらいました。歴史を知る人がいなくなれば、後の世代に伝えられなくなってしまいます。町の皆さんにもぜひウォーキングに参加していただき、町の歴史に触れていただきたいと思います。



猪苗代高生徒会長 長谷部宏仁さん(2年)

ボランティアとして参加したことで、町の元気な姿を見ることができたし、猪苗代は本当にいい町だと感じました。町外から通学していることもあり、町のことをよく知りませんでした。いろいろ分かってよかったです。町内で唯一の高校として、今後もさまざまなイベントに協力していきたいと思っています。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Nov.2015
11
No.661

今月の表紙



【撮影日】 10月17日
【撮影場所】 和みいな

ことしも大勢の親子が訪れた、和みいなハロウィン。今日はかわいらしく仮装して、パパやママと夜のお出かけ。イベントが始まると、子どもたちは目を輝かせながらお話を聞いたり、図書館を探検したりと、普段ではあり得ないシチュエーションを楽しんでいました。

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて
- 04 猪苗代町合併 60 周年記念式典を挙行
- 06 【写真特集】幼稚園・こども園・保育所運動会
- 08 平成 28 年度児童・園児募集
- 10 平成 27 年度上半期財政状況
- 12 まちのわだい
- 16 笑顔でこんにちは／いなわしろみらい会議 かわら版／スクールトピックス
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

町の合併60周年を盛大に祝う

爽やかな秋晴れとなった10月23日、猪苗代町合併60周年記念式典が行われ、町の節目を祝うとともに、先人に感謝し、さらなる町の発展を誓いました

町の合併60周年記念式典は10月23日、学びいなど行われ、出席者らが町の節目を祝うとともに、町の発展に尽力した功労者を表彰しました。

本町は、昭和30年4月1日に猪苗代町、吾妻村、月輪村、千里村、翁島村の1町4村が合併、同年7月20日に猪苗代町と長瀬村の1町1村が合併し、現在の猪苗代町となりました。

式典には受賞者をはじめ町、町議会、関係機関・団体の来賓など260人が出席しました。

式典では、前後公町長が「本町は、『町づくりは人づくり』からの原点に立ち、



式辞を述べる前後町長

人々が集い、つながり、心豊かに暮らす魅力あるまちづくりに向けて『人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代』を目指していく所存です。合併60周年を町民の皆さまと祝うとともに、先人の方々に感謝し、町のさらなる発展のために今後も皆さま方のお力添えをお願いいたします」と式辞、引き続き長沼一夫町議会議長があいさつを述べました。

続いて自治功労者と合併60周年記念表彰者合わせて44人を表彰した後、来賓の内堀雅雄県知事、若松謙維復興副大臣らが祝辞を述べました。

受賞者を代表して、前教育委員会委員長岩橋紀男さん(幸野)が謝辞を述べました。

アトラクションとして、町指定重要無形民俗文化財の西久保彼岸獅子舞がステージで披露され、式典に華を添えました。式典会場の学びいなどでは、本町出身の写真家、野口勝宏さんの写真展が行われたほか、来賓の控室などで町の合併後60年を振り返るスライドショーが上映されました。



今後の町の発展を祈念し、式典の最後に出席者全員で万歳三唱



前後町長から功労者表彰を受ける松浦和子さん(右)



前後町長から有功者表彰を受ける岩橋紀男さん(右)



祝辞を述べる内堀知事

受賞者は次のとおりです(敬称略)。

●自治功労者表彰

◇有功者表彰

- ▽教育委員会委員長としての功績◇岩橋紀男
- ▽財産区管理会会長としての功績◇長沼一夫
- ▽財産区管理会委員としての功績◇本多實
- ◇功労者表彰
- ▽区長としての功績◇笠間熊市、遠藤博

- ▽民生児童委員としての功績◇長田徳之、山内新榮、瀬戸亮、笠間征一、青木秀子、松浦和子、遠藤茂子
- ▽消防団員としての功績◇六角武志、小林利浩
- ▽納税貯蓄組合連合会会長としての功績◇常盤嘉一

- ◇善行者表彰
- ▽町の公益のため多額の私財を寄附された功績◇遠藤昭二、渋谷君美義

- 合併60周年記念表彰
- ◇町長の職にあつた方◇津金要雄
- ◇助役または副町長の職にあつた方◇渡部權一、鈴木幹男
- ◇教育長の職にあつた方◇大坂恭一

- ◇町議会議長の職にあつた方◇穴澤進、長谷川與一、関澤和人、鈴木武喜

◇在職7年以上その職にあつて活躍が顕著

- ▽前猪苗代町監査委員◇折笠光雄、▽前猪苗代町固定資産評価審査委員会委員◇渡部賢一、▽猪苗代町固定資産評価審査委員会委員◇氏田勝、▽猪苗代町長瀬地区財産区管理会会長◇阿部吉作、▽前猪苗代町吾妻地区財産区管理会会長◇渡部慎一、▽猪苗代町スポーツ推進委員長◇二瓶芳雄、▽前猪苗代町水道委員会委員長◇佐藤太市、▽猪苗代町ボランティア連絡協議会会長◇菊地和子、▽猪苗代町老人クラブ連合会会長◇戸田忠義、▽猪苗代町社会福祉協議会会長◇古川憲男、▽身体障がい者福祉協会猪苗代町分会会長◇細矢定伊、▽猪苗代町母子福祉会会長◇小林ミツ子

- ◇活躍が顕著
- ▽個人◇江花俊和、秦美智子、星野純子
- ▽団体◇猪苗代ライオンズクラブ、猪苗代ロータリークラブ、猪苗代町食生活改善推進委員会、いなわしろ手打ちそばの会、猪苗代町体育協会、猪苗代野球協会、猪苗代アスレチッククラブ、猪苗代町家庭バレーボール協会、猪苗代町ソフトボール協会

- ◇5年以上継続して寄附をいただいた方◇佐藤マツ、古川薫故人、遠藤マサコ



1



2



3

- 1_ 町内外から260人が出席し、盛大に町の節目を祝った
- 2_ 本町出身の写真家、野口勝宏さんの作品が学びいなどに展示され、式典に華を添えた
- 3_ 勇壮な舞を披露する西久保彼岸獅子



中の沢保育所（9月12日）



さくらこども園（10月3日）



猪苗代幼稚園（9月26日）



【写真特集】
幼稚園・こども園・保育所
運動会

9月から10月にかけて、町内の各幼稚園、こども園と保育所で運動会が開かれ、子どもたちが元気いっぱい競技に取り組みました。
会場の園庭や体育館では、応援に訪れたお父さんやお母さんたちが園児たちに大きな声援を送り、わが子の頑張る姿を写真やビデオに収めていました。



吾妻幼稚園（9月19日）



千里幼稚園（9月26日）



翁島幼稚園（9月18日）



猪苗代保育所（9月19日）

■問い合わせ先 教育委員会子ども課(さくらこども園内) ☎(66)2127

町では、平成28年度の町立こども園・中の沢保育所の入園・入所希望児を下記のとおり募集します。

各施設の利用には保育の必要性の認定(支給認定)が必要になります。

支給認定申請書を提出し、認定(1号・2号・3号認定)を受けてからの利用となります。

【認定区分】

区 分	年 齢	要 件	利 用 先
1号認定 (標準教育 時間認定)	満3歳以上	幼児教育を希望する場合	各こども園
2号認定 (保育認定)	満3歳以上	幼児教育および「保育の必要性」があり、保育を希望する場合	各こども園 中の沢保育所
3号認定 (保育認定)	満3歳未満	「保育の必要性」があり、保育を希望する場合	各こども園 中の沢保育所

中の沢保育所

●入所対象者

町内に住所がある0歳児～5歳児(年齢の起算は平成28年4月1日現在での満年齢)

※保育所に入所を希望する人は、支給認定(2号・3号認定)が必要になります。

●募集児童数

0歳児～5歳児(※0歳児は生後6カ月以上) 35人

●保育料 子どもの年齢と保育時間、保護者の市町村民税の額により決定

●開所日 月曜日～土曜日

●保育時間

①2号・3号認定(保育標準時間) 午前7時30分～午後6時

②2号・3号認定(保育短時間) 午前8時～午後4時

●休所日 日曜日、祝日、年末年始

※その他必要に応じて臨時休所することがあります。

●給食

①2号認定 副食とおやつ(主食は持参)



②3号認定 完全給食(※給食費は保育料に含まれるので、別途徴収はしません)

●申し込みに必要な書類(①～④の書類は各幼稚園・保育所、こども課に備え付けてあります)

①支給認定(変更)申請書

②保育所入所申込書

③父母の在職証明書

④入所調査票

⑤平成27年1月1日現在で、町内に住所のない人は市町村民税所得課税証明書

●受付期間 11月20日(金)～12月18日(金)

●申し込みの方法

申込用紙に必要事項を記入の上、必要書類を添付し各幼稚園・保育所、こども課に申し込んでください。※定員を超える申し込みがあったときは、利用施設を町が調整する場合があります。

町立こども園

こども園は、幼稚園と保育所の良いところを生かしながら、両方の役割を果たし、教育と保育を一体的に行う幼保連携型の施設です。

「さくらこども園」に続き、町は、猪苗代・翁島・千里・吾妻の4幼稚園と猪苗代保育所を統廃合し、平成28年度、新たに幼保連携型認定こども園「ひまわりこども園」を開園いたします。

●入園対象者

町内に住所がある0歳児～5歳児(年齢の起算は平成28年4月1日現在での満年齢)

※こども園に入園を希望する人は、支給認定(1号・2号・3号認定)が必要になります。

●募集園児数

・ひまわりこども園 342人
0歳児(生後6カ月以上) 12人・1歳児 24人
2歳児 36人・3歳児～5歳児 各90人

・さくらこども園 120人
0歳児(生後6カ月以上) 6人・1歳児 12人
2歳児 12人・3歳児～5歳児 各30人

●保育料

子どもの年齢と保育時間、保護者の市町村民税の額により決定

●開園日

①1号認定 月曜日～金曜日

②2号・3号認定 月曜日～土曜日、第2・第4日曜日

●保育時間

①1号認定(教育標準時間) 午前8時30～午後2時

②2号・3号認定(保育標準時間) 午前7時30分～午後6時

③2号・3号認定(保育短時間) 午前8時～午後4時

●休園日

①1号認定 土・日・祝日、春季・夏季・冬季休園日、



年末年始および学年末休園日

②2号・3号認定 日曜日(第2・第4日曜日を除く)、祝日、年末年始

※①②に定める他、必要に応じて臨時休園することがあります。

●給食

こども園は完全給食です。給食費は、認定区分によって徴収方法が変わります。

①1号認定 給食費を別途徴収します(1食200円)。

②2号認定 保育料に副食おやつ代は含まれますが、主食代は別途徴収します(1食20円)。

③3号認定 全て保育料に含まれるので、別途徴収はしません。

●申し込みに必要な書類(①～④の書類は各幼稚園・保育所、こども課に備え付けてあります)

①支給認定(変更)申請書

②こども園入園申込書

③父母の在職証明書(2・3号認定のみ)

④入園調査票(2・3号認定のみ)

⑤平成27年1月1日現在で、本町に住所のない人は市町村民税所得課税証明書

●受付期間 11月20日(金)～12月18日(金)

●申し込みの方法

申込用紙に必要事項を記入の上、必要書類を添付し各幼稚園・保育所、こども課に申し込んでください。※定員を超える申し込みがあったときは、利用施設を町が調整する場合があります。



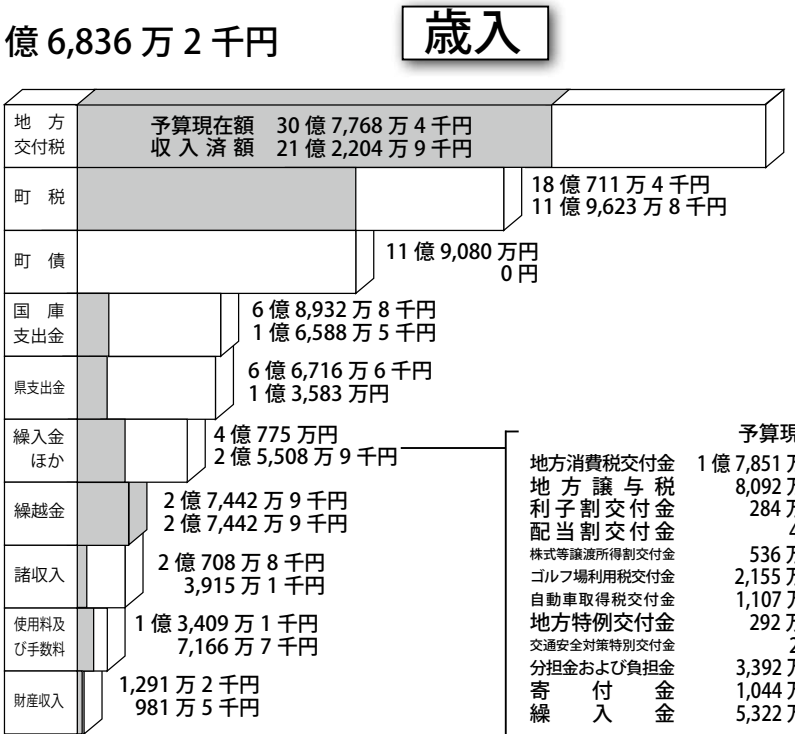
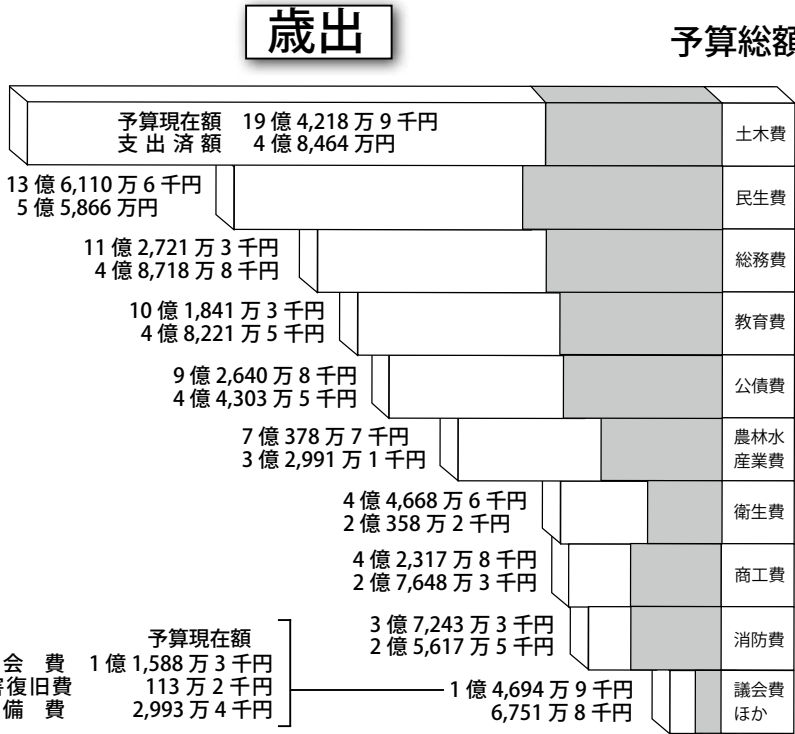
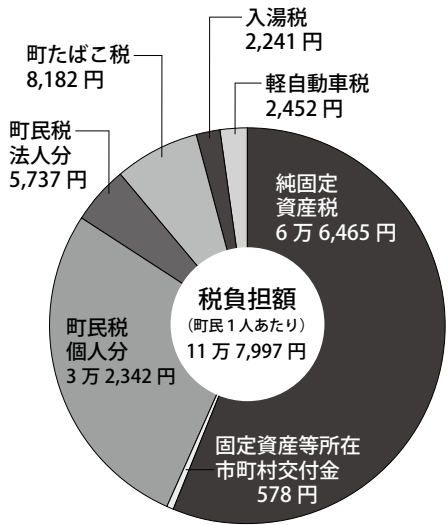


■平成 27 年度上半期財政状況

町のお金は このように使われました

一般会計

みなさんが納める税金



平成27年9月末までに使った、町のお金の状況をお知らせします。これは、地方自治法と町条例に基づき、毎年5月と11月の2回、町の財政状況を皆さんに公表しているものです。一般会計は、上半期中2回の補正をし、歳入歳出の予算現在額は、84億6836万2千円となりました。9月末までの予算現在額に対する収入割合は50・42%、支出割合は42・39%となっています。国民健康保険などの10の特別会計は、上半期中、合計で5088万1千円の補正をし、予算現在額に対する収入割合は40・49%、支出割合は48・90%となっています。

▼問い合わせ先 企画財務課財務係 ☎(62) 2112

基金の状況

(27年度末見込額)

- ▼財政調整基金 7億1201万9千円
- ▼減債基金 1億719万2千円
- ▼温泉センター建設基金 235万5千円
- ▼公共下水道整備基金 139万1千円
- ▼ふるさと創生基金 1490万8千円
- ▼リゾート開発環境整備基金 824万6千円
- ▼ふるさと水と土保全基金 1068万円
- ▼地域福祉基金 1億8227万7千円
- ▼そば大豆刈取機械整備基金 556万4千円
- ▼震災復興基金 7474万円
- ▼小野弥太郎記念育英基金 1836万4千円
- ▼中津川溪谷レストハウス基金 125万1千円

◎基金を運用しながら事業を行うもの

- ▼土地開発基金 1億9790万円

町債現在高 (27年9月30日現在の平成27年度末現在見込額)			
一般会計		特別会計	
総務	3億1,661万3千円	下水道事業	32億2,290万円
民生	1億2,486万1千円	特定環境保全下水道事業	9億596万円
農林水産	1億9,589万5千円	農業集落排水事業	14億9,221万9千円
商工	1,233万5千円	◎一般会計合計 92億1,845万円	
土木	24億1,483万円	◎特別会計合計 56億2,107万9千円	
営住宅	6億6,616万7千円	●町債現在高合計 148億3,592万9千円	
消防	6,566万円		
教育	16億8,544万3千円		
臨時財政対策債など	37億3,664万6千円		

特別会計予算執行状況 (公営企業会計を除く)			
会計区分	予算現在額	収入済額	支出済額
猪苗代地区財産区	476万2千円	181万円	88万6千円
翁島地区財産区	279万9千円	189万6千円	24万1千円
長瀬地区財産区	1,069万9千円	341万1千円	248万2千円
吾妻地区財産区	1,158万3千円	520万5千円	206万2千円
国民健康保険	20億2,241万2千円	9億3,047万円	10億1,385万6千円
公共下水道事業	5億3,696万2千円	1億542万5千円	2億4,647万7千円
特定環境保全下水道事業	1億4,018万5千円	2,245万1千円	6,512万8千円
農業集落排水事業	1億4,801万4千円	1,948万4千円	7,269万1千円
介護保険	15億2,574万7千円	7億888万9千円	7億7,946万4千円
後期高齢者医療	1億6,782万円	5,185万4千円	5,180万8千円
計	45億7,098万3千円	18億5,089万5千円	22億3,509万5千円

公営企業会計

水道事業会計予算収支状況 (消費税込)			
区分	収入	支出	差引
収益的	1億6,364万2千円	6,640万8千円	9,723万4千円
資本的	603万8千円	4,869万2千円	△4,265万4千円

※資本的収支の不足額4,265万4千円は内部留保資金から補てんしました。

病院事業会計予算収支状況 (消費税込)			
区分	収入	支出	差引
収益的	351万2千円	616万円	△264万8千円
資本的	268万円	2,836万9千円	△2,568万9千円

※収益的・資本的収支の不足額2,833万7千円は基金などから補てんしました。

一般会計は、当初予算81億4100万円に対し、9月末までに2回の補正を行い、3億2123万7千円を増額、総額では84億6836万2千円となりました。補正予算で計上した主なものは、土木費においては、道の駅整備事業に係る地中熱調査委託、民間除雪委託料、農林水産業費においては、優良堆肥製造施設内汚泥肥料排出用コンクリート壁設置工事、ホイルローダの老朽化に伴う購入、防雪柵格納庫北側外壁修理工事、磐越自動車道跨道橋の雨沼橋滞雪防止板設置工事、イタリアミラノ博覧会におけるPR事業に係る経費、教育費においては、川西認定こども園家具設置工事および開園に向けた準備費用、その他では、猪苗代町地域福祉交流センター敷地の砂利敷工事、社会保険・税番号制度対応の団体内統合宛名システム構築経費、ふるさと納税推進事業における特産品等発送委託業務に係る経費です。なお、これらの事業に必要な財源は、地方交付税、国庫補助金、県支出金、前年度からの繰越金、財政調整基金からの繰入などにより賄っています。



前後町長から感謝状を受ける岩橋さん(左)

教育行政発展の功績に感謝

前教育委員会委員長の岩橋紀男さんに感謝状

町教育委員を3期12年、うち8年間教育委員会委員長を務め、このほど退任された岩橋紀男さん(幸野)への感謝状贈呈式は10月1日、町役場で行われました。前後公町長は岩橋さんに感謝状を手渡し、「長年にわたり教育行政の振興にご尽力いただきありがとうございます。これからも町勢伸展のためにご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。

世界の「野口」が撮影のコツを伝授

猪苗代ハーブ園で写真教室

猪苗代青年会議所による写真教室は9月27日、猪苗代ハーブ園で開かれ、参加者12人が撮影のコツを学びました。参加者たちは、講師を務めた本町出身の写真家、野口勝宏さんのアドバイスを受けながら、園内に咲くダリアやコスモスなどを撮影しました。参加者の国分希さん(吾妻小5年)は「少し工夫するだけでとてもいい写真が撮れるのに驚いた。これからも教わったことを生かして、たくさんいい写真を撮りたいです」と話しました。



野口さん(右)に撮影のコツを教わる参加者



子どもたちの人気を集めた乗口バ体験

親子連れなどが楽しく体験

国立磐梯青少年交流の家で「ばんだいフェスティバル」

体験の風をおこそう in 磐梯「ばんだいフェスティバル」は10月17、18の両日、国立磐梯青少年交流の家で開かれました。初日の夜は、宿泊した家族らがレクリエーションなどを通して交流を深めました。18日は、町内外から親子連れなど2250人が来場。クラフト、野外力検定、ナンビザ作りなど26種類の体験ブースで思い思いに楽しみました。町内から訪れた親子は「楽しく体験できる場があってうれしい。春もまた来ます!」と話しました。



神事後、あいさつを述べる前後町長

道の駅新築工事の安全を祈る

土津神社で新築工事安全祈願祭

平成28年度のオープンを目指す「(仮称)道の駅猪苗代」の新築工事安全祈願祭は10月21日、土津神社で行われ、関係者が工事の無事を祈りました。神事後、前後公町長は「本施設は、農産物の高付加価値化を目指した特産品の6次産業化、総合観光案内機能を備えた観光周遊の拠点、さらには防災対策施設として利用したい。完成後は町の地域創生の拠点施設として、多くの方に利用していただけるものと確信している」とあいさつしました。



結団式に臨んだ選手の皆さん



結団式で宣誓する国分選手



練習の様子。選手たちは仕事や学業の傍ら、夜間の厳しい練習に取り組む



ふくしま駅伝の健闘を誓う

学びいなで町選手団の結団式

第27回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の町選手団結団式は10月18日、学びいなで行われました。結団式では渡部敏弘監督が「町の部優勝と昨年成し遂げられなかった全体での1桁順位、最後まで一本のタスキをつなぐことを目標に、チーム一丸となって大会に臨みたい」とあいさつしました。選手団を代表して國分伊三郎選手が「練習の成果を十二分に発揮し、正々堂々と走り抜く」と誓いました。ふくしま駅伝は11月15日、白河市のしらかわカタルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、95.1㌾で繰り広げられます。



検閲官らの通常点検を受ける団員たち

冬を控え防火の誓い新たに

県消防協会猪苗代支部秋季検閲

県消防協会猪苗代支部の秋季連合検閲は10月25日、猪苗代小校庭で実施されました。猪苗代、磐梯両町の消防団から参加した約500人の団員たちは、町役場を出発し中央商店街を行進した後、同校の校庭に到着。通常点検、規律訓練や分列行進などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。また、長年にわたり消防団活動に尽力した団員らをたたえ、功労章、功績章、永年勤続章、精勤章の表彰も行われました。

湖の水質改善願い共に汗を流す

東中の生徒と猪苗代ライオンズクラブが水草回収

東中学校と猪苗代ライオンズクラブは10月6日、猪苗代湖の天神浜で漂着水草の回収作業を実施しました。この活動は、腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、湖の水環境を改善するため、平成23年から行っているものです。同校の全校生徒と同クラブの会員合わせて約120人が参加。生徒たちは、同クラブ会員の指導を受けながら、フォークなどを使って湖岸に打ち上げられた水草を熱心に回収しました。



水草回収に汗を流す東中の生徒とライオンズクラブ会員



お化けのいる薄暗い館内を子どもたちが探検

普段と違う図書館の雰囲気楽しむ

和みいなハロウィンを開催

「和みいなハロウィン」は10月16日、和みいなかで開かれ、親子連れなどがハロウィーンの夜を満喫しました。仮装して集まった子どもたちは、ちょっぴり怖くて楽しいお話を聞いたり、薄暗い館内でお化けに変装した大人たちからはんこを集め、お菓子と交換したりして、いつもとは違った図書館の雰囲気を楽しみました。一緒に訪れたお父さんやお母さんたちは、かわいらしく仮装したわが子の姿を一生懸命写真に収めていました。

鈴木セキさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

10月8日に満100歳の誕生日を迎えた鈴木セキさん（西久保）への賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム咲楽の里で行われ、家族らが長寿を祝いました。加藤清司県会津保健福祉事務所長が知事賀寿と木杯を贈呈。続いて前後公町長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈った後、施設から記念品や花束などが贈られました。お祝の品を受け取ると、鈴木さんは「ありがとうございます」と元気な声で感謝を述べました。



前後町長から賀寿を受ける鈴木さん(左)

びわ沢原森林公園を桜の聖地に

「ふくしまサクラモリ」プロジェクト覚書締結式

「ふくしまサクラモリ」プロジェクトの覚書締結式は10月1日、町役場で行われました。この覚書は、びわ沢原森林公園を同プロジェクトのシンボルである「桜の聖地」として位置付け、全国や世界に向けて福島復興を発信する拠点とすることを目的に締結されたものです。締結式では、同プロジェクトを展開する福志会の渡部良代表理事と前後公町長が覚書に署名。佐藤新太郎県会津農林事務所長が立ち会いました。



締結式で握手を交わす渡部代表理事(左)と前後町長

中学生が日ごろの練習の成果競う

北会津管内中学校体育大会新人総合大会

平成27年度北会津管内中学校体育大会新人総合大会は9月29日、町運動公園内の楽天イーグルス猪苗代球場、カメリーナや各校の体育館などで開かれました。町内3中学校と磐梯中学校の4校から、1、2年生約350人が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボールや卓球など7種目で日ごろの練習の成果を競い合いました。



卓球ダブルスで熱戦を繰り広げる選手たち



前後町長のもとへ報告に訪れた鶴巢さん(右)

長年の山岳遭難救助活動に感謝状

鶴巢忍さんが町長に報告

長年にわたり山岳遭難救助活動などに尽力し、10月23日に県山岳遭難対策協議会の感謝状を受けた猪苗代山岳会の鶴巢忍さんは同日、町役場を訪れ、前後公町長に報告しました。鶴巢さんは平成10年に同会に入会して以来、猪苗代地区山岳遭難対策協議会管内の遭難救助活動や遭難救助訓練などにおける指導育成に尽力。平成19年からは5年間、環境省自然公園指導員と県自然保護指導員としても活躍しました。

野口博士の記念切手を町に贈呈

オリジナルフレーム切手発行記念として

日本郵便東北支社はオリジナルフレーム切手「野口英世」の発売を記念し、町と野口英世記念館に切手を贈呈しました。町への贈呈式は10月1日、町役場で行われ、郵便局の県西部地区連絡会統括局長の佐藤賢之介旭田郵便局長らが前後公町長に切手を手渡しました。この切手は、博士ゆかりの地である会津地域と野口英世記念館のPRを目的に作成されたもので、会津地域の郵便局において1000シート限定で販売されました。



前後町長に切手を手渡す佐藤統括局長(右から2人目)ら



昭和村産のかすみ草でかんむりを作る来館者

来館者が多彩なイベント満喫

はじまりの美術館秋の収穫祭「はじマルシェ」

はじまりの美術館の「はじまるしゅ〜秋の大収穫祭！」は10月10、11の両日、同館で開かれ、町内外から訪れた大勢の来館者が多彩なイベントを楽しみました。普段作品を展示しているスペースを利用し、ヨガや折り紙、かすみ草のかんむり作りなどの体験型イベントが繰り広げられた他、外には食べ物や工芸品などのさまざまな出店が並び、来館者たちが思い思いに楽しいひとときを過ごしました。

子どもたちの福祉教育に役立てて

日本生命郡山支社が町にDVDを贈呈

日本生命郡山支社は10月19日、町内の6小学校と和みいかに福祉教育DVD各2枚を贈呈しました。同社は、さまざまな事例を通して、お互いに助け合って生きていくことの大切さなどを子どもたちに考えてもらおうと、小学生向けのビデオを制作。町へのDVD贈呈は、昨年に続き2回目となります。贈呈式は同日、町役場で行われ、日本生命郡山支社喜多方営業部の齋藤真由美さんが土屋重憲教育長に手渡しました。



土屋教育長にDVDを手渡す齋藤さん(左)

猪苗代高校「国際観光科」が

平成 28 年入学生より

「観光ビジネス科」に変わります！

「観光ビジネス科」は商業を中心に学ぶ学科です



「観光」の学習



「簿記」の学習



「情報処理」の学習



「ビジネスマナー」の学習

特色① コース制を導入し、より専門的に商業を学びます！

1年生	基礎的な科目「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」を学習します	
2年生 3年生	進路希望や興味・関心に応じてコースを選択します	
	会計コース	マーケティングコース
	「財務会計」や「原価計算」「課題研究」などの学習を通して、企業会計に関する知識や技術を高め、全商簿記検定1級合格により福島大学や私立大学への進学を目指します。	「マーケティング」や「ビジネス実務」「商品開発」などを学習し、サービスやビジネスに関する知識を深め、電卓検定やサービス接客検定などを取得して実社会で実践できる能力を身に付けます。

特色②「観光」を題材にして、より実践的に商業を学びます！

猪苗代町の基盤産業である「観光」を学びながら、ビジネスマナーを身に付け、地域の課題について創造的に解決しようとする態度を身に付けた人材の育成を目指します。

また、これまで行ってきた「デュアルシステム」（企業体験実習）も実施し、社会における責任感や望ましい勤労観・職業観の育成を目指します。

〒猪苗代高校 ☎ (62) 3125

猪苗代高生がスポーツの秋満喫

町運動公園で体育祭を開催



借り物競走で熱戦を繰り広げる生徒たち

猪苗代高校の体育祭は10月23日、町運動公園陸上競技場で開かれ、秋晴れの下、生徒たちが爽やかな汗を流しました。

同校の体育祭は3年に1度開催しており、ことしは同校の生徒と同校で授業を行う富岡高、ふたば未来学園高サテライトの生徒合わせて約170人が参加。パン食い競争、借り物競走などの個人種目と綱引き、騎馬戦などの学級対抗種目を行い、親睦を深めました。

昼食時には保護者らにより豚汁が振る舞われ、生徒たちが愛情のこもった熱々の一杯に舌鼓を打ちました。



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

逢子ちゃんの名前には、「一生涯にわたって、素敵な出会いに恵まれてほしい」という両親の願いが込められています。

佐藤 逢子 ちゃん

平成26年10月生まれ

～五輪原

信野さん・千鶴子さん夫婦の長女

いつもニコニコ、みんなに愛嬌を振りまく逢子ちゃん。「最近、名前を呼んだり、ごはんの時に『おいしい人』と言うと、にっこり笑って手を挙げてくれるようになりました」とママの千鶴子さんは笑顔で話します。

お気に入りの遊びは、人形とお話すること。言葉を返してくれる猫とパンダの人形に「あー」「わー」と話しかけては、会話を楽しんでいるそうです。音楽も大好きで、テレビなどで歌が流れると、リズムに合わせて手を動かしたり、体を揺らしたりと、とってもご機嫌なのだとか。

音楽好きのパパ、信野さんは「大きくなったら、一緒に音楽フェスに行きたい」とにっこり。カフェを営む千鶴子さんは「一緒にお菓子を作りたい」と成長を楽しみにしています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎ (62) 2111

いなわしろみらい会議 かわら版 No.1

町の未来を考えるまちづくり町民ワークショップ「いなわしろみらい会議」が10月15日にスタートしました。下書きのない自由な討論を行い、今後10年にやるべき具体的な目玉事業とその背景にある手の打ちどころを明らかにし、次期振興計画づくりに反映させたいというねらいです。

会議は全4回で、今回は公募メンバーと町職員合わせて32人が参加しました。

会議では、町企画財務課による主旨説明の後、参加者の自己紹介を兼ねて、各々が用紙に書き込んだ町の未来についての自分の想いを発表し、共通するテーマごとにチームをつくりあげました。その後、それぞれのテーマについてチームごとに議論を行い、次の「まちの現状把握・点検」に欠かせない取材先をリストアップ。会議は終始、熱気に包まれていました。

今回の会議は11月21日、「まちの点検と情報共有」をテーマに開催されます。

【メンバーたちの声】 ※ふりかえりシートより抜粋

これまでのまちづくりの歴史の中で、魅力的なアイデアにも関わらず実現しなかったことが多々あったんですね。

猪苗代に関するいろいろな熱い思い、大人の考えなどが多く聞けたというのは、とても自分のためになったと思う。(高校生)

観光に関連したテーマを挙げた人の多さに比べて、中心産業の農業に興味のある人が少ない現実。

町の未来に対して関心を持つ人が、こんなに多いとは思わなかったです。この点は、一安心です。

会議の詳しい内容は、町ホームページでご覧いただけます。



一人一人が自己紹介し、町への熱い思いを語りました

まちづくりへの熱い思いが飛び交う「いなわしろみらい会議」がスタート

インフルエンザ予防接種について

◆町インフルエンザ予防接種の概要

対象者	町内に住んでいる人(住民登録をしている人)で助成区分に該当する人
実施期間	平成27年11月1日から平成28年1月31日まで
接種回数	13歳未満…2回(1回目接種時年齢) 13歳以上…1回(※医師の判断により2回接種になることがあります。ただし、補助の対象になるのは1回のみです)
接種に必要なもの	①住所・氏名・年齢を確認できるもの(免許証、健康保険証、母子健康手帳など) ②自己負担金 ③インフルエンザワクチン助成事業対象者証明書(※生活保護受給者)

11月から、町内の医療機関でインフルエンザの予防接種が始まりました。

インフルエンザの予防と、かかってしまった時の重症化を防ぐためにワクチンの接種が効果的です。対象者は以下の概要をよく読んでから医療機関でワクチンの接種を受けましょう。

◆助成対象者と助成限度額

助成対象者の区分		1回目			2回目					
		接種費用	助成限度額	自己負担額	接種費用	助成限度額	自己負担額			
一般	1 歳以上の幼児、小学生 13 歳未満の中学生	病院 単価による	2,430 円	病院単価と 町助成の差額	病院単価 による	2,430 円	病院単価と 町助成の差額			
	13 歳以上の中学生 高校生等※									
	妊 婦									
	生活保護受給者 (1 歳～高校生等と妊婦)			全額	0 円	1 歳～13 歳未満(1 回目接種時)の場合 2 回目接種も全額助成				
高 齢 者	○ 65 歳以上	4,860 円	2,430 円	2,430 円 ※医療機関により異なる場合 があります。						
	○ 60 歳以上 65 歳未満の心臓・腎臓・ 呼吸機能障害またはヒト免疫不全 症による身体障害者 1 級の人									
	生活保護受給者							4,860 円	4,860 円	0 円
	施設入居者							3,337 円	1,669 円	1,668 円
	生活保護者で施設入居者	3,337 円	3,337 円	0 円						

※「高校生等」とは「18歳の誕生日以後、最初の3月31日を迎えるまでの人」とします。

◆町内で助成が受けられる医療機関

医療機関名	電話番号
浅見クリニック	63-2200
小川医院	62-2132
かねこ内科外科クリニック	72-0660
町立猪苗代病院(高齢者のみ)	62-2350
マリアクリニック	66-2700
矢吹医院	62-2169

※町内の介護老人福祉施設(いなわしろホーム、咲楽の里)、介護老人保健施設(ケアテル猪苗代、多生苑猪苗代)で接種できる人は、施設入所者に限ります。

◆町外医療機関・施設で接種を受ける場合

- ①高齢者に該当する人は、県広域予防接種を実施している医療機関・施設であれば自己負担額だけで接種ができます。
- ②1歳から18歳までの子どもと妊婦で、町外の医療機関での接種を希望する人は、償還払い(※)になります。

※「償還払い」とは、一時的に医療機関窓口で料金を支払い、後で町に申請することで助成額を戻す方法

◆実費で支払った接種料金について

上記の助成対象者に該当する人で、接種料金を実費で支払った人は、接種料金の全額または一部が戻ります。下記の書類を持参の上、町役場保健福祉課窓口で手続きをしてください。

- 持参書類
領収書・接種済証・銀行またはJ Aの通帳・印鑑(生活保護者は「インフルエンザワクチン接種助成事業対象者証明書」が必要になります)

◆接種にあたっての注意事項

- ①ワクチンを準備する都合上、事前に医療機関などに電話で確認してください。
- ②当日の体調や持病により、予防接種を受けられない場合があります。医師の判断に従ってください。

【問い合わせ先】

保健福祉課 健康づくり係 ☎(62)2115

意見箱

皆さんの建設的なご意見をお寄せください

町は、町民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めるため、ご意見やご提案をお寄せいただく町民意見箱「ご意見箱」を設置しています。より良いまちづくりのため、皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

▼設置場所

役場庁舎、カメリーナ、学びいな、和みいな(郵送やFAXでも受け付けます)

▼回答方法

広報猪苗代で回答

▼記入にあたってのお願い

・ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いいたします。

・他人を誹謗、中傷するものや営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。

・氏名、住所および連絡先をご記入ください。

※頂いたご意見の内容によっては、確認のためご連絡させていただくことがありますので、ご了承ください。なお、広報で回答する際には、氏名を伏せて掲載します。

▼送付・問い合わせ先

総務課 秘書広報係
☎(62)2111
FAX(62)5175

ご意見箱
猪苗代町

給付金

臨時福祉給付金の申請はお済みですか

町では、臨時福祉給付金の申請を受け付けています。申請期限は平成27年12月1日です。期限を過ぎると給付金を受け取ることができませんので、ご注意ください。給付対象者となる可能性のある人には、すでに案内と申請書を郵送しています。

▼支給対象者

平成27年度分の住民税が課税されている人が対象です。

※ただし、課税されている人に生活の面倒を見てもらっている場合(住民税において、どなたかの扶養となっているなど)や生活保護の受給者である場合などは、対象となりません。

▼支給額

対象者1人につき6千円

▼申請方法

・申請先 保健福祉課
・申請受付期間 9月1日(火)～12月1日(火)

・提出書類

申請書ほか(身分

議会

12月議会が始まります
傍聴にお越しください

町議会の本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。議場は町役

証明書・振込口座の写しなど)

▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

高齢者を狙った なりすまし詐欺に注意



県内の高齢者を狙ったなりすまし詐欺が増加しています。被害にあわないよう、怪しい電話などがあった場合には、すぐに警察や消費生活センターなどに相談しましょう。

●詐欺の特徴

家族や警察、銀行員や地方公共団体職員などになりすまし、電話などを通してお金をだまし取る手口です。

●対処方法

電話で現金の送付や振込みを要求してきたら、詐欺を疑いましょう。高額な請求に対しても、慌てて現金やカードを用意せず、まずは警察や消費生活センターまたは家族に相談しましょう。

●相談先

猪苗代警察署 ☎(63)0110
県消費生活センター ☎024(521)0999
商工観光課 商工観光係 ☎(62)2117

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成27年9月30日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別			
	平成27年	平成26年	増減	増減率%
猪苗代町	64	41	23	56.1
磐梯町	18	11	7	63.6
裏磐梯	11	3	8	266.7
計	93	55	38	69.1

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
			27年	26年	27年	26年	27年	26年
窃盗犯計			51	27	13	10	11	2
空き巣			2	2	1			
金庫破り				1				
事務所荒らし					1			
出店荒らし			8	1			1	
倉庫荒らし			2	3	1	2		
侵入盗その他			14	4	3	4	2	
置き引き			3	2				
車上ねらい			2	2		1	3	2
部品ねらい			2	1				
脱衣場ねらい								
自販機ねらい								
万引き			6	3				
職場ねらい			1		1			
さい銭盗								
畑荒らし								
スキー・スノーボード盗					3		1	
非侵入盗その他			6	8	3	3	3	
自動車盗								
オートバイ盗								
自転車盗			5					
その他の乗り物盗							1	
暴行・傷害			2	4	1			
詐欺・横領			3	3	3	1		
遺失物等横領								
器物損壊			5	6	1			
その他の刑法犯			3	1				
総計			64	41	18	11	11	3
増減				23		7		8

◎なりすまし詐欺に注意！家族や警察官、銀行協会職員などを装い、お金をだまし取る詐欺が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族や知人が警察(110番)に相談してください。

2 交通事故状況

死亡事故	0	0	0	0	0	0
増減	0		0		0	
人身事故	32	63	12	15	2	2
増減	-31		-3		0	

◎シートベルトには事故被害軽減に大きな効果があります。助手席、後部座席も着用しましょう。
◎夜間、歩いて外出する際は、必ず反射材を身に着けましょう。

編集後記

実りの秋。私の大好きな洋梨もおいしい季節です。そんな私に向かって娘がひと言。「パパようなしだよね」。ちよつと言葉を省略しすぎではないでしょうか。(矢森)

税金

もう一度、申告内容の見直しをお願いします

税務署では、納税者の方に適正申告を行っていただくための取り組みを充実させています。

昨年、各税務署が書面により申告内容の見直しを呼びかけたところ、誤りがあった方から修正申告書を提出いただきました。

申告がお済みの方も、再度、内容の見直しを行っていただき、誤りがある場合には、早めの修正申告をお願いいたします。

なお、自主的な修正申告書の提出には、過少申告加算税は課せられません。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

☎会津若松税務署 ☎(27) 4311

就職支援

「ふくしま大卒等合同就職面接会」開催

平成28年3月に大学などを卒業予定の方、平成25年3月以降に大学などを卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、県内企業との面接会を開催します。

●開催日 11月28日(土)

●開催場所 ラコパふくしま(福島市仲間町4-8)

●参加企業 県内企業50社(予定)

●実施内容 事業所PRタイム(午前11時30分～)、合同就職面接会(午後1時30分～)

●その他 事前申し込み不要

●主催 福島労働局、福島県

☎(株)飛鳥 ☎0246(38)6117

事業者

社長！労働保険の加入手続きはお済みですか

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

正社員、パート、アルバイトなど、雇用形態にかかわらず、1人でも労働者を雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。

☎福島労働局 ☎024(536)4607

【お詫びと訂正】

広報10月号(No.660)の記事中に誤りがありました。

6ページ2段目「平成26年度猪苗代町決算」の「一般会計から見る町の財政状況」の記事中、「町税全体で0.7%、金額にして1億3669万円減収になりました」とあるのは、「町税全体で0.7%、1366万9千円減収になりました」の誤りです。

おわびして訂正いたします。

善意をありがとうございます

○野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金として

二瓶盛一さん(福島市)

100,000円

滝口幸男さん(東京都)

50,000円

町営住宅入居者募集

【申し込み・問い合わせ先】
建設課 都市整備係 ☎(62) 2118

【鶴峰住宅】応募者多数の場合は抽選となります。

●募集住宅 鶴峰住宅2号棟(木造2階建) 1戸(3LDK)

●家賃 27,000円～40,200円(所得に応じて決まります)

●募集期間

11月11日(水)～11月25日(水)
午前8時30分～午後5時15分
※土・日・祝日を除く

●住宅見学期間 11月17日(火)～20日(金) 午前9時～午後3時
※事前申し込みが必要

●応募方法 建設課の窓口で入居予定者選考申込書に記入していただきます。電話やインターネットでの受け付けは実施しません。

●応募資格(※詳細は問い合わせください)

①現在、18歳未満の子どもを2人以上扶養する世帯。※妊婦がいる世帯は、応募する際に母子手帳の写しを添付してください。

②住宅に困窮していること。

③世帯の収入が、公営住宅法などで定められた基準収入額以下であること(一般世帯は月額158,000円以下、裁量世帯は月額214,000円以下)。

※応募する際に世帯の収入がわかる書類(源泉徴収票など)を持参し、窓口で確認を受けてください。入居予定者の中に障がい者がいる場合は、障害者手帳などを持参してください。

④税金などの滞納がないこと。

【定住促進住宅】随時募集中。応募順に受け付けます。

応募があった人から順番に申し込みを受け付けます(抽選会はありません)。

●募集住宅(11月4日現在)
定住促進住宅(RC5階建、エレベーターなし、3DK) 3室

⑤町内在住で入居者と同程度以上の収入のある保証人を2人たてられる人。

●抽選会から入居までの予定

①抽選会日時および場所

12月3日(木) 午前9時

町役場3階 正庁B

※以下は抽選に当たった人です。

②入居説明会 12月3日(木)

抽選会終了後に入居者説明会と現地説明会を行います。

③書類提出期限 12月10日(木)

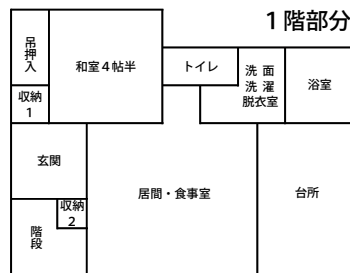
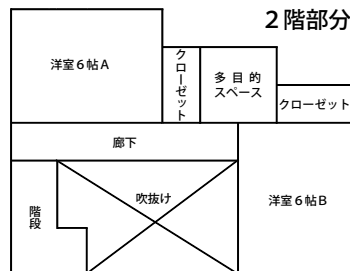
④入居手続き・鍵の引き渡し

12月24日(木) 予定

⑤入居指定日 12月25日(金)

※20日以内に入居してください。

【鶴峰住宅間取り】



プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

27年10月1日現在の現住人口

人口	14,776人
世帯数	5,058戸
出生 6人	転入 32人
死亡 25人	転出 35人

●国民健康保険税 5期分
●介護保険料 5期分
●後期高齢者医療保険料 4期分
●下水道使用料 11月分

今月の納期

(納期限11月30日)

みんなの美術館

11月は猪苗代小学校のお友達の作品です

Our Museum



「ももちの木」

国語の教科書にのっている話「ももちの木」の一場面を想像して描きました。特に上手に描けたのは、2種類の茶色で塗った、ももちの木です。木の周りも白くふちどるなど、工夫しました。



本田 ^{そら}青空さん (3年)



本田 ^{きょうへい}恭平さん (2年)

「カマキリと一緒に歌を歌っているところ」

前にカマキリを見た時、歌っているように見えたので、絵を描いてみようと思いました。右上にいるのが自分です。カマキリの足が特に上手に描けました。



食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.221

かきと野菜のみそミルク鍋 (メタボ予防メニュー)



【材料】4人分

かき 12個・タラ 1切れ・玉ねぎ 2個・白菜 6枚・エリンギ 4本・えのき 1パック・にんじん 1本・水菜 1/2束・水 600cc・A {みそ 大さじ2・みりん 大さじ1・酒 大さじ6}・低脂肪牛乳 400cc

【作り方】

- ① 玉ねぎはくし形に、白菜は食べやすい大きさに切っておく。4～5分の長さに切ったエリンギは薄切りにし、根元を落としたえのきは小房に分ける。
- ② にんじんはピーラーで薄く切り、水菜は4～5分の長さに切っておく。
- ③ 土鍋に水と①を入れて火にかけ、煮立ったら弱火にして一口大に切ったタラを加えて5～6分ほど煮る。
- ④ ③にAとよく水洗いをしたかきを加え、火が通ったら牛乳と②を加えてひと煮立ちしたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】

エネルギー 237kcal、塩分 2.0g

■一口メモ■

野菜やきのご類は鍋に入ると一度にたくさん食べることができます。低脂肪乳を加えるとコクが増すので減塩につながります。